

2022年6月13日

妊娠・出産における生命保険のご加入範囲拡大 ～妊娠・出産に温かい社会づくりへの貢献～

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、当社のビジョン“安心の先にある幸せへ。”の実現に向け、お客さま一人ひとりの「クオリティ オブ ライフ(QOL)」向上に貢献すべく、妊娠・出産における生命保険のご加入範囲を 2022 年7月より拡大します。

これまででは保険加入時に妊娠中の方や、帝王切開を経験された方は、妊娠・出産に関する保障を一定期間受けられないという条件でご加入いただくケースがありました。今回のご加入範囲拡大により、一定の基準を満たせば妊娠・出産に関する条件を付けずにご加入いただける可能性が高くなります。

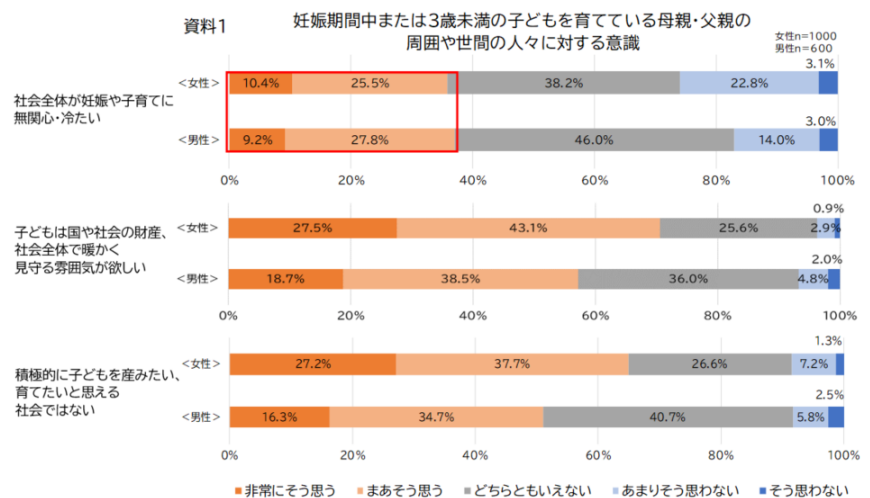
当社はこれからも妊娠・出産に温かい社会づくりや人々の well-being 向上に貢献していきます。

1. 妊娠・出産を取り巻く環境認識

妊娠・出産においては、経済的負担の増大、仕事と子育ての両立の難しさ、年齢や健康上の理由など、さまざまな要因¹において、多くのご家庭が不安を抱えています。

妊娠期間中又は 3 歳未満の子どもを育てている母親・父親の約 3 人に 1 人が「社会全体が妊娠や子育てに無関心・冷たい」と感じており²(資料1)、社会的サポートが足りないと感じている方も多いようです。

当社は妊娠・出産におけるご家庭の経済的な負担・不安を和らげ、安心して生活していただくサポートをしていきたいと考えています。



¹ 国立社会保障・人口問題研究所「第 15 回出生動向基本調査」(2015 年)

(https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/doukou15_gaiyo.asp)を参考に記載

² 公益財団法人 児童育成協会「子育て中の親の外出等に関するアンケート調査 結果報告書」(2020 年)より

2. ご加入範囲拡大の概要

当社では、より多くのお客さまに安心をお届けできるよう、保険引受データの蓄積を進めるとともに、さまざまな観点でデータ解析を行ってきました。

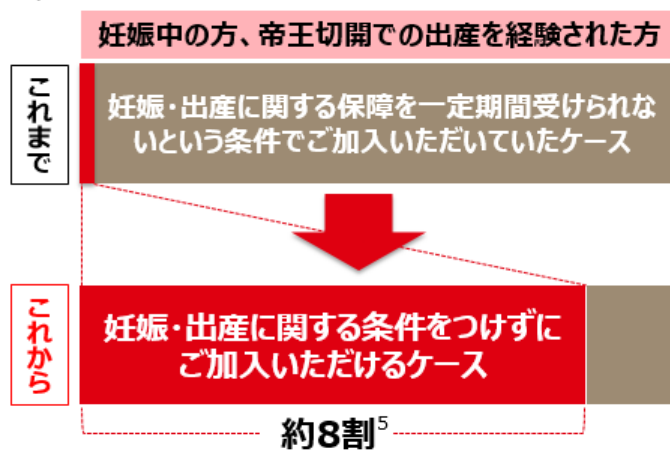
これまで保険加入時に妊娠中の方や、過去に帝王切開による出産を経験された方は、加入後の入院・手術のリスクが高いことを理由に、妊娠・出産に関する保障を一定期間受けられないという条件でご加入いただくケースがありましたが、データ解析の結果、一定の基準を満たしていれば、入院・手術のリスクが少ない場合があることが確認できました。

このことから、2022年7月より、妊娠中の方、帝王切開を経験された方を対象に保険のご加入範囲を拡大します。以下の基準を満たせば、妊娠・出産に関する条件を付けずにご加入いただけます。（※告知内容によっては、保険に加入できない場合や、加入できても保険料の割り増しや一部の保障が対象外になるなど条件付きの契約となる場合があります。）

- 保険加入時に妊娠中³であっても、過去5年以内に帝王切開を受けておらず、かつ、今回の妊娠で医師からの指摘⁴を受けていない方。
- 過去に帝王切開による出産を経験されていても、保険加入時に妊娠中ではない方。

妊娠・出産に関するご加入範囲拡大のイメージ

(新規加入時)



加入時から妊娠・出産に関する保障を受けられる方が拡大！
(医師からの指摘がないこと等、一定の基準を満たす必要があります。)

³ 保険加入時の妊娠週数・月数は問いません。

⁴ 「医師からの指摘」には以下が該当します。

帝王切開の予定、切迫流産、切迫早産、前置胎盤、低置胎盤、前置血管、子宮頸管無力症、双胎・多胎妊娠、胎児発育不全、羊水過少症、羊水過多症、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群

⁵ 2018年度実績から算出した概算。

3. 今後の取組み

当社は国立大学法人東北大学(総長:大野 英男、以下「東北大学」と)と、2019年8月に締結した包括連携協定に基づいて、少子化をはじめとする社会課題解決に資する取組み検討のため、2021年4月に「女性ヘルスケア医科学共同研究講座」を設置し、妊娠・出産に関する共同研究を進めています。

当社は東北大学との共同取組みを通して効果的な情報発信を行い、妊娠・出産に温かい社会づくりや人々のwell-being向上に貢献していきます。